

つるがしま男女共同参画推進プラン（第5次）達成状況

基本目標Ⅰ 男女共同参画の意識づくり

【成果】

《施策全般》

各課における事業に男女共同参画の視点を取り入れるよう、配慮されるようになった。小・中学校においても男女平等教育を実施した。また、広報紙、SNS、講座及び展示により、性別による固定的役割分担意識の解消に努めた。

【課題】

《施策全般》

全ての市民に対して、男女共同参画の意識づくりを進めるための情報発信を効果的に進める必要がある。

男女共同参画の理解、効果、意識の変化等については、検証が非常に難しい。

基本目標Ⅱ ワーク・ライフ・バランスの推進

【成果】

《施策3》

多様な働き方を推進するため、女性の再就職及び起業を支援する取組を行った。また、保育環境の整備、子育て家庭及び介護が必要な家庭へのサービスを充実させ、家族のケアを抱える人が就労を継続しやすくなるよう支援した。

《施策10》

地域課題の解決に向けては、地域支え合い協議会を8団体設置し、課題の解決に向けた講座を市民センターと共催する体制を整えた。

【課題】

《施策3～6》

ワーク・ライフ・バランスの推進には企業の職場風土の改善が不可欠である。市内の企業においても男女共同参画を理解して進めてもらうよう、積極的に働きかける必要がある。

《施策10》

地域における方針決定の場である自治会では、会長職における女性の割合が向上していないため、引き続き啓発を行うことが必要である。

基本目標Ⅲ すこやかで安心できる安全な暮らしの実現

【成果】

《施策全般》

市民から受ける相談は各課において重要な業務に位置付けられており、関係機関と連携しながら支援を行ったほか、個人情報管理を徹底した。市内各課においては市民が相談しやすい体制づくり、各学校においては児童生徒が相談しやすい環境づくりに努めた。

《施策13》

配偶者暴力相談支援センターの設置に合わせて、DV対策市内連絡会議を設置したほか、定期的に要保護児童等連絡会議を開催し、被害者の支援を行った。

【課題】

《施策全般》

相談窓口を様々な年代や境遇の市民に利用してもらえるよう、これまで以上に周知する必要がある。

《施策12》

職員は、相談窓口が複数の課にまたがるケースや、時間をかけても根本的な解決に至らないケースに対応している。

《施策17》

市の地域防災計画においては、女性に配慮した避難所運営についての取り決め内容をより充実した内容への変更を検討する。また、災害時における要支援者の個別支援計画の策定も検討する。

基本目標Ⅳ 男女共同参画を推進する体制の充実

【成果】

《施策全般》

市の審議会等における女性の割合は、目標値には届かなかったが、徐々に向上している。市職員の管理職に占める女性の割合も、向上する傾向にある。また、地域の企業において活躍する女性を増やすよう、企業の管理職及び人事担当者に向けた講座への協力体制が整いつつある。

【課題】

《施策全般》

市職員の女性管理職の目標値を引き上げ、研修とフォローを行いながら進める必要がある。男性職員の育児休業取得についても、目標に届かなかった原因を分析し、進める必要がある。